

パイン俱楽部



俱楽部

PINE CLUB

パイン俱楽部の名前は、三田市木の赤松(レッド・パイン・ツリー)に由来します。

Vol.42 http://www.sia-japan.org/

三田市国際交流協会
SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION(SIA)

〒669-1528 三田市駅前町2番1号
キッピーモール6階 三田市まちづくり協働センター内
TEL:079-559-5164 FAX:079-559-5173
2-1 Ekimaecho Sanda Hyogo 669-1528
E-mail: office@sia-japan.org

「国際交流DAY2012」へ行こう ～2月11日まちづくり協働センターにて～

International Day 2012 11th Feb.
At Machizukuri Kyodo Center (Kippy Mall 6F)

第3回在住外国人による日本語スピーチ大会 10:30-13:00

The 3rd Japanese Speech Contest

三田(日本)での生活の中で感じたことなどを海外出身者の視点からスピーチ。

世界のことば体験 Experience of World Languages 14:00-15:30
日本語サロンで学習する海外出身の方が、挨拶など簡単な母国語を教えてくれます。日ごろあまりなじみのない言語を体験してみるチャンスです。外国人むけ日本語体験もあります(Try Japanese lesson in Nihongo Salon SANDA)。

キッズ外国語 Foreign Language Experience for Kids 14:00-15:30
外国語での絵本や紙芝居の読み聞かせです。ことばがわからなくても大丈夫。子どもの想像力はことばを越えます。

国際交流パーティ International Friendship Party 13:00-14:00
スピーチ大会出場者も参加する立食パーティです。ことばを越えて気軽に話してみてください。手作りの各国料理も好評! <会費要:事前申込>

フェアトレードのおはなし&カフェ 14:00-15:00

Story about Fairtrade & Café

フェアトレードって何でしょう? 協会の目指す多文化共生との関わりは? おいしいコーヒーでくつろぎながらお話を聞きください。

ブルーマウンテンズ市派遺生会 15:00-15:20

この夏、ブ市を訪問した高校生から、体験や感じたことなどの報告を聞きます。

着物体験 KIMONO Wearing 14:00-15:30

外国人にとって一度は着てみたいあこがれの振袖。羽織、袴もあります。

抽選会 Lottery 15:40-16:00

シメはやはりコレ! 何が当たるかお楽しみに!

姉妹都市紹介写真展

三田市の姉妹都市の写真展です。今年の5月の済州トレッキングツアーの写真や体験記もあります。次は一緒に姉妹都市へ!

国際交流協会活動紹介展示

三田市国際交流協会が行うイベントの紹介です。協会会員やボランティアスタッフ募集中です!!!

在住外国人のための就職セミナー(11/5)

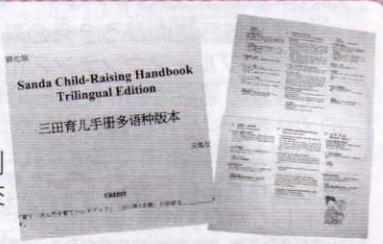
Employment Seminar for Non-Japanese Residents

講師にハローワーク神戸外国人労働者専門官の越智長英さんを迎えて、外国人の就業の現状、ハローワークの紹介、日本での就職時のマナーや注意点から始まり、面接時の応答の仕方、日本語での履歴書の書き方の練習などのセミナーを開催しました。12名の参加者は和暦?学歴?と慣れない履歴書に戸惑いながらも通訳やサポートの協力を得て欄を埋めていきました。このセミナーを足場に日本語の壁や文化の違いを乗り越えて、日本での就職に役立てて頂きたいと思いました。(Teruzo)



英語・中国語版 「子育てハンドブック」 作成 [県協会助成事業]

三田市発行の「子育てハンドブック」の英語および中国語版を兵庫県国際交流協会の助成を受け、作成しました。



在住外国人のための「防災」

Disaster-Prevention for Non-Japanese Residents

東日本大震災では阪神大震災の経験をもとに多くの支援活動が行われました。在住外国人のために当協会でも、災害を実感してもらうための「防災オリエンテーション」や災害時に外国人を手助けするための「サポートー養成講座」を開催し、日本語サロンでは避難訓練と非常食の試食体験を行いました。

「防災オリエンテーション」(10/30) [市受託事業]

Disaster-Prevention Orientation 兵庫県広域防災センター

震度7の「揺れ」を感じて、話以上の凄さに驚いたり、真っ暗で煙が充満した通路を歩く体験ではあまりの恐さに途中退出する人も。最後まで行き着いた人でもほんの数メートルの通路が長く感じたそうです。防災はやはり話を聞くだけではなく実際に肌で感じて知り、いざという時に備えることが大切だと実感しました。



「第2回災害時外国人サポートー養成講座」(8/21) [市受託事業]

ことはのわからない外国で災害にあったら情報も得られず大きな不安を抱えます。いざというときに外国人の手助けをするサポートーの養成講座を昨年に引き続き開催しました。

講師のヴァニア・ファキマ・アラウチさんはイタリア系ブラジル人。小・中・高等学校でポルトガル語と国際文化を教える傍ら、在日ブラジル人の生活や教育相談などの支援を行っています。

彼女は、1995年に大阪で阪神大震災を体験し、「日本語も話せず、日本人の言うこともわからない。家にはテレビがなく、友人もいない中、携帯電話はつながらないし…心細かった。正しい情報はもちろん『大丈夫よ』『1人じゃないよ』ということばかけがとても大切だと思った。」と当時を振り返ります。

日本に暮らす外国人にとって、行政上の情報や日常生活をするまでの情報を正しく知ることは、自分の身を守ることになります。例えば、外国籍の両親の元に生まれた子どもは、日本で生まれても日本国籍を取ることができず、出生後1ヶ月以内にビサ取得の手続きをしなくてはいけません。公的施設、病院、学校等で日本の生活にまだ馴染めず、不安な思いでいる外国の人たちに親身になって対応し、必要な情報を伝えることができているかどうか。日本人であれ、外国人であれ、日ごろから助けるコミュニケーション作りが新たな課題になりそうです。(Toshiko)



日本語サロン 防災訓練(9/5)

日本語サロンの授業のあと、受講生と講師合わせて約50名が避難訓練を行いました。キッピーモール防災センターの田中和也さんより、災害発生時の注意事項を伺った後、6階の多目的ホールから階段を使って地上に避難する訓練を行いました。訓練後は非常用のチラシ寿司、ピラフ、炊き込みご飯などを試食しました。



国際理解講演会(11/12)総合福祉保健センター

「日本と三田の農業を語る」

「世界の中の日本農業を考える」と題して、三田市農業委員会会長の西浦道雄さんによる国際理解講演会が行われました。前半は、米国の国際農村青年交換計画の日本代表に選ばれ、昭和33年に21歳で渡米し、カリフォルニア州での農業を実地で学んだ青春グラフィティや、昭和63年にイスラエルを訪れた時の体験などを、たくさんのスライドを使って語って頂きました。後半は、地産地消、五穀豊穣、身土不二を信条として、多種類多品種、集落農業、地域ビジョンをキーとする希望に満ちた三田の農業についてのお話でした。

丁度、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加が取りざたされている中、タイムリーな講演会となりました。普段農業と全く関係のない人も、西浦さんの熱い語りを熱心に聴いていました。(Teruzo)

オーストラリアの人と自然にふれあえた2週間 ブルーマウンテンズ市 高校生派遣報告

自然との共存を実感

○学校生活について

滞在中の平日は、ホストシスターの Avril が通っているセントコロンバス高校へ一緒に通い、授業を受けさせていただきました。最初は不安でしたが、生徒は皆フレンドリーで、「こんにちは」と日本語で挨拶をしてくれたり話しかけてくれる人がたくさんいたので、とても安心でき、現地での学校生活を楽しむことができました。授業は個人で選択し、それに応じて1人1人の時間割が組まれていました。英語や歴史の他、写真、日本語の授業もあります。授業中はとても自由な雰囲気で、飲食をしたり、音楽を聴きながら受けている生徒も珍しくありませんでした。しかし、質問がしやすい雰囲気でもあるので、生徒が疑問に思ったことをすぐに解決できるという点は良いと思いました。

授業と授業の合間に、「Recess」という、20分程度のお菓子を食べる時間がありました。生徒は「Recess があることで、次の授業に集中できる。」と言っていました。Recess も昼食も、生徒は皆屋外で食べることに驚きました。

日本の学校とは違い部活動が無いので、水曜日を Sports Day とし、生徒は放課後にバスケットボールやゴルフを楽しんでいました。また、各教室に20台程ノートパソコンが用意されており、自宅学習やレポート提出もPC上で行うよう、日本の高校よりもかなりIT教育が進んでいるように思いました。

○ブルーマウンテンズ市における環境保全について

生態系や環境保護の方法について紹介します。

- Clean Up Australia Day という、住民が近所の掃除をする日がある。
- 1年に1度、Earth Hour という時間があり、オーストラリア中の人々がその1時間電気を消す。
- 固有種の鳥を食べてしまわないように、家の中ではネコを飼う。
- 2012年度より、炭素税が導入される。

日本では要らなくなったら捨てるという考えが多いですが、オーストラリアには古くからリサイクルの精神が根付いているように感じました。また、ブルーマウンテンズ市の住宅の多くは、元々そこに生えていた植物は切らさず自然と我が家が上手く共存しており、街中にも自然がたくさんあるように思いました。自然と人が共存している点や、節水・節電の努力は、日本も見習うべきだと思いました。

○ブルーマウンテンズ市訪問を終えて

オーストラリアは、世界で1番の“国民が幸せだと感じられる国”だそうです。時間がゆっくり流れており、広い心を持っている人が多いと感じました。

私も小さことで悩んだりせずに、大きな心を持つ人間になりたいと思います。日本の料理や遊び・習慣等を伝えることができ、とても良い経験になりました。また、自分の英語力の乏しさを実感し、もっと勉強しなければいけないと思いました。自分の夢のためにも、これからも学習していきたいです。そして今回得たものを、これから活かしていきたいと思います。

<外国人が働く会社> トキトレーディング

JR 広野駅から徒歩で15分程の田んぼの真ん中にトキトレーディング株の建物があります。トキトレーディングは10年前に三田市で創業した電子機器の輸出入を行い外国人と日本人の区別なく働くインターナショナルな貿易商社です。代表取締役の武弘幸子さんに会社のことと SIA との関わりについて伺いました。

○どんなお仕事をされていますか？

台湾や中国から電子機器を輸入し日本の企業に販売していますが、幸いにも取引先が増え順調に事業は拡大しています。台湾や中国の営業担当は女性が主ですので、女性同士親近感をもってビジネスがし易いです。私自身も工場監査などでよく台湾や中国の深圳、東莞に出張します。

○スタッフの方と SIA もつながりがあるとか？

ネパール人の夫をもつスタッフがいます。彼は SIA の日本語サロンに通っています。上海出身の中国人スタッフの両親が来日した際には国際交流プラザの母国語を話すイベントを楽しめました。インドネシアからの帰国子女のスタッフは SIA の中国語入門講座を受講します。10年程前にも韓国語講座を3名受講しました。何をかくそう、私自身が、昔、幼い子を連れて事業委員としてお手伝いさせてもらっていました。

○どんな人を社員として望みますか？

語学力はもとより何より心に国境の壁がない方を採用しています。具体的には「明日、香港に出張してください。」と頼んでも、「行ってきます。」と気軽に引き受けてくれるような方ですね。

池部 英里奈(北摂三田高校)



7月22日～8月5日の2週間にわたり、池部英里奈さん(北摂三田高校)と塩川愛子さん(同)の二人が、三田市の姉妹都市であるオーストラリアのブルーマウンテンズ市に派遣されました。全文はホームページで紹介されています。

心に残った2週間

塩川 愛子(北摂三田高校)



7月22日から8月5日までオーストラリア・ブルーマウンテンズ市に行ってきました。私のこの旅での目標は、「笑顔でコミュニケーションをとる」ことでした。

向こうでの平日は、7日間、ウィンマリー高校に通いました。ホストシスターのEmilyとバスに乗ったり、親友のHannahと3人で歩いたり、登下校から楽しかったです。学校ではEmilyの友達と一緒に授業を受けたり、リセス(Recess、おやつ)やランチを共にしてとても仲良くなれました。

授業は正直、よく分からない所も多かったです。友達がいろいろと話してくれておもしろかったです。そして私がとても驚いたのが家庭科の時間です。調理実習をしているのに、何も作らず、ただしゃべっている子がいたり、お菓子を食べたり……。本当に自由だなあと思いました。だけどその実習で作ったスコーンはとてもおいしかったです。

そして学校へ行く最終日、いつも一緒にいた友達がお別れパーティーを開いてくれました。みんながお菓子やケーキを持ち寄って、最後には寄せ書きのカードをプレゼントしてくれました。ほんの数日だったのにみんなと仲良くなれて、本当に良かったと思います。

学校生活の中でもう一つ心に残ったことは高校で3回、小学校で1回プレゼントーションをしたことです。内容は①三田市、日本について②原爆症で亡くなった佐々木サダ子さんの紹介③オリヅルの折り方です。特に小学校でのプレゼントーションはとても心に残っています。オリヅルもとても楽しんでくれました。最後、たくさんの子がハグしてくれて本当にうれしかったです。

週末はホストファミリーがいろんな所へ連れて行ってくれました。何より心に残っているのが自然です。世界遺産であるスリー・シスターズはもちろんですが、その他の景色もすべて世界遺産かと思うくらいすごかったです。日本とは比べものにならないくらいすべてが大きくて迫力があり、かっこよく見えました。

ホストマザーのNicolaは毎日働いていて、家に帰ってきてても賃金があり、かっこよかったです。きびしい一面もありましたが、おもしろい人でした。ホストファミリーのMikeは主夫で、毎日おいしいご飯を作ってくれたり、週末にはいろんな所へ連れて行ってくれました。Mikeのご飯は本当においしくて一番心に残っているのが肉を使っていないベジタブルグラタンです。

この2週間で私の心に残ったことは、①友達のフレンドリーさ②ホストファミリーの暖かさ③自然の美しさの3つです。

この旅を通して私は人間がもっと大好きになりました。英語が理解できなかったり、私の言っていることが通じないこともありました。オーストラリアの人々と楽しく過ごせました。英会話も大切ですが、「笑顔でコミュニケーション」がとれたと思います。



この経験を活かしこれからも明るく過ごしていくたらいいなと思いました。そして、もしまだ、友達に会える時があればもっと上手に会話をできたらいいなと思います。

この旅の思い出は私にとって一生の宝物になりました。

H24年度派遣生募集！後日、ホームページで詳細をお知らせします。 対象は、三田市在住の中3、高1、2年生。是非、ご応募ください。

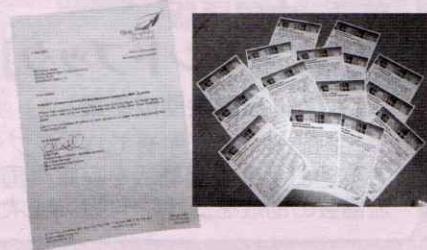
ブルーマウンテンズ市 カースティン・ケネディさん来訪 からの派遣高校生

9/24～10/7の2週間、高校2年生のカースティン・ケネディさんがブルーマウンテンズ市から派遣されました。昨年度有馬高校の交換留学に引き続き2回目の三田来訪です。今回は三田祥雲館高校に通い、書道などの授業や部活に参加したり有馬高校の運動会に行ったりDAYキャンプ等の協会のイベントに参加したりの多忙な2週間を過ごしました。「秋はおいしい食べ物がたくさんあって太ってしまった」そうです。



ブルーマウンテンズ市より 震災お見舞いのメッセージ、署名が届きました

一歩ずつ復興に向かう3月の東日本大震災。ブルーマウンテンズ市より241名分の署名が、市長からの哀悼のメッセージと共に届きました。23年を経た姉妹都市交流の深い絆を感じられるあたたかい心遣いに、震災そして原子力の影響力に不安を抱く私たちの心が癒されます。



パインほっとインタビュー ~スイス編~

スイスでR&D(研究開発)がしたい フィリップ・ジャケさん

2009年9月から三田市に住み、関西学院大学で研究活動を続けています。フィリップ・ジャケ(Philippe Jacquet)さんは、出身地のスイスのことや日本での生活や将来のことについて聞きました。



出身地について教えてください。

私はスイスのジュネーブで生まれました。ジュネーブはフランス系の人が多く、話す言葉はフランス語です。車でなら15分位でフランスに行けますので、食料品などの値段が安いフランスによく買い物に行きます。スキーもフランスのスキーフィールドで楽しめます。

スイスはEUに加盟していませんね。

スイスは存知のとおりEUには加盟していません。それは政治的に中立でいたいからです。戦争はしませんし、赤十字の活動もスイスから生まれています。だけど経済的には欧州各国と連携しています。欧州25カ国が加盟するSchengen協定には加盟していますので、加盟国間では出入国審査がなく自由に出入国できます。

英語はどのくらい勉強しましたか?

私の母はイギリス人ですので、小さい頃は英語が話せたのですが、小学校に通うようになってからはフランス語を使うようになったので、英語が上手に話せなくなりました。

○「世界あれこれミニトーク」 姉妹都市韓国済州市訪問記!

協会主催の姉妹都市・韓国・済州市へのツアー(5/19~22)に参加された高さんと中村さんに、帰国後6月18日(土)に済州の様子を語っていただきました。

済州島特産のみかんを使ってのコチュジャン作り、登頂時の喜びを求めて韓国最高峰のハルラ山(標高約2000m)へ済州市の市民や職員の方と一緒にトレッキング、よもぎ入りのチルント(餅)と五味子茶でもなされたホームピジット体験などの話を聞かせてもらいました。済州島が故郷の高さんの耳心地よい語りに「是非一度訪れてみたい!」「もう一度行ってみたい!」と言う声があちこちから聞こえてきました。

<予告> 世界あれこれミニトーク「ドイツのファミリエ」
~家族のきずな~ お話:シスター パルフ・ギゼラさん
12月10日(土)13:30~15:00 三田まちづくり協働センター[参加無料]
○申し込み・問い合わせ TEL.079-559-5164

○「韓国語でおしゃべり!」

10月29日(土)・11月6日(日)、韓国驪州大学から語学研修のために来日中の学生の皆さんとの交流会、「韓国語でおしゃべり」が開催されました。日本人参加者の洗練された韓国語と韓国人学生さんの流暢な日本語で、話がはずみました。韓流ブームの日本ですが、韓国の皆さんもアニメなどの日本の文化にかなり興味深い様子で、生きた交流の場となりました。



行政書士 森田幸生事務所

- 国際結婚
- 離婚
- 相続
- 後見
- 在留資格
- 帰化
- 永住
- アメリカ・カナダ・オーストラリア留学・ビザ取得手続き
- 日英(私・公文書)翻訳/通訳
- 法人設立・各種許認可申請
- クーリングオフ
- 契約書・内容証明郵便・その他書類作成

Gyoseishoshi Lawyer SACHIO MORITA assists foreign nationals in matters relating to visa (status of residence), international marriage, immigration, naturalization, company incorporation, business license acquisition and other government administrative proceedings in JAPAN. Please feel free to call.



079-553-0766

森田幸生

検索

<http://moritasachio.gyosei.or.jp/>

三田での生活はどうですか?

三田はとても良いですね。田舎ですので静かで住みやすいです。1歳になる双子の娘を育てるのにはとても良い環境です。

日本で生活していておかしいなと感じたことはありますか?

日本では、外国料理のレストランで日本人が調理をしているのがへんな感じです。ジュネーブでは、イタリア料理はイタリア人、中国料理は中国人が調理しています。三田から電車で神戸に行くのに、何枚も切符を買わなければならないのが不便です。神戸に乗り、JRに乗り、阪急に乗りかえたりしなければならないのが大変です。スイスでは国営鉄道だけですから切符は1枚で済みます。

それにバスの押しボタンの所に「このボタンを押すと次の停留所で停まります」なんて書いてあるのがおかしいですね。すぐ分かることなのに。

スイスでは美味しいレストランは必ず建物の1階にあるけれど、三宮なんかでは建物の上方に美味しいレストランがあるのにびっくりしました。だけど、日本のレストランでは、勘定書きをテーブルに置いててくれるの、食後すぐに支払いが出来て便利だと思います。それに日本人は割引のクーポンとかポイントとかが好きですね。私の妻もいっぱい持っています。



将来はどうされますか?

将来はスイスに帰り、R&D(研究開発)の仕事がしたいです。できればジュネーブから近いフランス語圏のヌーシャテル(Neuchatel)という街の会社で働きたいですね。

(Teruzo & Motoko)

「高齢者大学 国際コース」で講演

6月15日、高齢者大学大学院の国際交流コースに、日本語サロンのミューリン・ケントさん(米)と湛旭燕(タン・キヨクエン)さん(中)が講師として招かれ、「国際交流の実際」という内容で約1時間半のトークを行いました。ケントさんは3月に東日本大震災のボランティア活動を行った時の話を、湛さんは故郷中国での最近の様子を中心に写真をたくさん使って話してくれました。



「三田にひびく、世界の歌声コンサート」共催



7月25日、三田市総合文化センターで、三田市国際交流協会、三田市合唱連盟、三田市総合文化センターの共催による合唱コンサートが行われ、市内の合唱団の他、海外よりリトニアの女声合唱団Choir Kivi(キウイ)と韓国ソウルの端草バウモ工女声コーラスが参加し、歌声を披露してくれました。SIAでは、韓国語と英語の通訳を派遣するとともに、韓国の民族衣装であるチマ・チョゴリを着て観客席で応援したり、コンサート後のレセプションで出演者に日本の浴衣を着せて、会を盛り上げました。



「ベルリンフィル 公開クリニック」に通訳派遣

「ベルリンフィル12人の金管奏者たちの演奏会」(7月10日 三田市総合文化センター主催)の終演後、奏者による公開クリニックが行われ、通訳ボランティアが活躍しました。ホルン、トロンボーンなどのパートごとに分かれ、世界一流の奏者によるレッスンに参加者は最初少し緊張気味でしたが、息の使い方など一言のアドバイスで参加者の出す音が全く変わり、白熱したクリニックとなりました。

社会人の方、大歓迎!!
不況にも強い堅実な仕事

介護福祉士の

国家資格

「卒業=資格取得」できる今がチャンス!!

介護福祉士の仕事は高齢者の方やからだの不自由な方が快適な生活を過ごすためのお手伝いをするところでもやり甲斐のあるお仕事です!
みなちゃん どっちゃん

介護福祉士として働いている卒業生のほとんどは正規雇用されていて、平均給与だって幼稚園教諭や保育士と同じなんだ!

幼稚教育保育学科 / 人間健康専攻(養護教諭コース・医療事務コンピュータコース・食育健康コース)、生活福祉専攻(介護福祉士コース)

入試要項配布中

入試の種別		試験実施日
推薦入試	公募推薦入試	12月3日(土) 12月23日(金)
	(三次)	
自己推薦入試	(二次)	12月3日(土)
	(三次)	1月28日(土)
	(四次)	3月3日(土)
	(五次)	3月17日(土)
社会人特別入試	(一次)	12月3日(土)
	(二次)	1月28日(土)
	(三次)	3月3日(土)
	(四次)	3月17日(土)
一般入試	(一次)	1月28日(土)
	(二次)	3月3日(土)

一般入試

1月28日(土)

3月3日(土)

社会人特別入試

1月28日(土)

3月3日(土)

推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

自己推薦入試

1月28日(土)

3月3日(土)

公募推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

一般入試

1月28日(土)

3月3日(土)

社会人特別入試

1月28日(土)

3月3日(土)

推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

自己推薦入試

1月28日(土)

3月3日(土)

公募推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

一般入試

1月28日(土)

3月3日(土)

社会人特別入試

1月28日(土)

3月3日(土)

推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

自己推薦入試

1月28日(土)

3月3日(土)

公募推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

一般入試

1月28日(土)

3月3日(土)

社会人特別入試

1月28日(土)

3月3日(土)

推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

自己推薦入試

1月28日(土)

3月3日(土)

公募推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

一般入試

1月28日(土)

3月3日(土)

社会人特別入試

1月28日(土)

3月3日(土)

推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

自己推薦入試

1月28日(土)

3月3日(土)

公募推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

一般入試

1月28日(土)

3月3日(土)

社会人特別入試

1月28日(土)

3月3日(土)

推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

自己推薦入試

1月28日(土)

3月3日(土)

公募推薦入試

12月3日(土)

1月28日(土)

一般入試

写真でみる協会イベント(2011.5~2011.11)



四季の料理教室 日本語教育ボランティア 養成講座
「あげだしどうふ」 「月見団子」

キッズ英語 英会話講座

郷の音ホール、国際交流プラザ前、フレンドシップデイ会場において、3つの姉妹都市の児童生徒の絵画展を行いました。それぞれのお国柄が表れるすばらしい作品でした。

第14回フレンドシップデイインサンダ(10/16) ウッディタウン市民センター

この催しは、三田市の行政および関連団体が協力して、外国人市民と日本人市民との交流や相互理解を目的として行われています。SIAからは日頃の活動の写真やポスターなどの展示コーナーと、屋外テントでの中国点心の販売で参加しました。点心は、本場四川出身の日本語サロン受講生の手作り麻婆豆腐や杏仁豆腐をはじめ、水餃子やゴマ団子、エビ団子など、どれも美味しいと好評で、たくさん的人が列を作り、あっという間に売り切れました。展示コーナーには、海外に関心のある人などが訪れて、スタッフの説明を興味深く聞いていました。



豆ハングル
남녀노소 【老若男女】
동서고금 【古今東西】
현모양처 【良妻賢母】

上の3つの韓国語の言葉はすべて漢字語で、右の日本語と同じ意味ですが、漢字が違います。下は韓国語に相当する漢字です。

남녀노소 男女老少 동서고금 東西古今 현모양처 賢母良妻

同じ意味でも漢字が微妙に違うのが興味深いですね。韓国の漢字の読み方は日本語と違い、たまに読み方が2つほどある字がありますが、ほとんどが1つしか読み方ありません。漢字の読みを知ると語彙力が飛躍的に伸びますよ。

여러분, 화이팅! 皆さん、ファイト!

(YASUYO)

ひとこと English
Be my guest.

A : Can I use the bathroom?
B : Be my guest.

これは、相手に何か求められたときに、「遠慮なくどうぞ」と勧める表現です。Sure. や Go ahead. より丁寧で、「どうぞ、どうぞ」という気持ちが伝わります。使ってみたい表現ですね。

一方、状況で判断できますが、If you don't believe me, please be my guest. (私の言うことを信じないなら、どうぞご自由に)といったように、皮肉っぽく使われることもあります。(SANAE)

編集後記

「なでしこ」は愛らしく控えめな風情の花。日本女子サッカーチームは見事花を開かせ、仲間との地道な努力や諦めない事の大切さを改めて実感させてくれました。2月11日の国際交流DAY(1面参照)。今回も開催に向けて、多くの会員がボランティアとして準備中です。会員、非会員を問わず、気軽にご参加ください。お待ちしています。(Toshiko)

※三田国際マスターズマラソン(12/18 10:30スタート)で、姉妹都市ランナーが走ります(三田市1名・済州市5名)。みなさん、応援してください。

美しい心とからだのレッスン
正しい指導で、明るく楽しいスクール
日本バレエ協会会員

関口バレエスクール

入学随时
※関口バレエ団・団員同時募集

TEL (079) 565-1712
三田市すずかけ台2丁目15-3
(北摂中央幼稚園バス停前)
ウッディタウン本部・えるむプラザ教室
フラワータウン教室他あります

クラシックバレエ

関口バレエスクール

南ウッディタウン駅
JR三田駅
三田市民病院
神戸電鉄
至 フラワータウン

えるむ プラザ
遊歩道
すずかけ 小
幼稚園
南ウッディタウン駅より徒歩5分

DAYキャンプで外国人と交流(9/25)

三田市野外活動センター(小柿)

台風一過の秋空の下、在住外国人との交流DAYキャンプを行いました。この催しには、姉妹都市であるオーストラリア・ブルーマウンテンズ市からの派遣高校生のカースティン・ケネディさんをはじめ、タイ、インドネシア、中国、オーストラリア、スイス、マレーシアなど外国人27名を含む101名が参加して、バーベキューやゲームを楽しみました。グループに分かれて野菜などを切ったり、おにぎりを作ったり、肉や野菜を焼いて、自己紹介や出身国の話で、食事も会話をしました。その後賞品の当たるbingoゲーム、順番にリーダーを務めるラインダンス、○×クイズ、最後はインドネシアのダンスを踊って締めくくりました。



済州トレッキングツアー(5/19~22)

地元の登山会の人たちとのハルラ山トレッキングやホームビジット、乗馬などを通じて姉妹都市済州の人たちとの交流を深めました。現地では、三田市名誉市民のソン・ポンギュさんがホストを務めてくれました。



日本語サロン受講生と三輪小学校児童との交流(10/24)

日本語サロンの時間に三輪小4年生約80名が国際理解教育のために来訪しました。児童は5~8名位のグループに別れて、ネパール、スイス、ドイツ、米国、スペイン、韓国、インドネシア、中国出身の受講生を囲んで座り、熱心に話を聞いてメモしていました。昨年も参加した受講生は経験を生かし、通貨や地図を持ってきました。児童の名前の中国語読みを教えていたりとそれぞれ工夫して、自國のことや言語、日本で感じることなどを伝え、質問も次々飛び交う活気ある交流を行いました。



QUIZ

各□に入るアルファベットを並べ変えて、1つの単語を完成させてください。

1. endu□ance : 忍耐
2. dest□ny : 運命
3. □teady : 地道な
4. achieveme□t : 達成
5. soli□ude : 孤独

(答え)

□p□□□□□

前回の答え: relief(救援、救済)

<当選者(敬称略)>

・じんママ ・June
・ワラコ ・バーネット
・ハッスルバアさん

読者の声

- ・三田市内にたくさんの外国人がふえたのにびっくりです。
- ・記事を読んでみんな頑張っているなと思うと、私も元気になってがんばれます。
- ・世界の心に残るいい話…みたいなのをとりあげてほしいです。心があつたかくなるような。
- ・西さんの講演会、仕事で行けなくて残念でした。
- ・今回の派遣高校生が2人とも我が後輩に決定。何とも嬉しい限りです。大震災後の言葉としてリリーフは大切ですね。

INFORMATION

詳しくは事務局 TEL 559-5164
<http://www.sia-japan.org/>まで

イベント・事業案内(場所記載のないものはまちづくり協働センター)

- 国際交流DAY 2/11(土) 1面参照
- 中国語講座(1/15~3/18日曜 全10回 募集12/2~)
- 通訳サービス、翻訳サービス(随時受付中)
- ユニセフ写真展「エイズの危機と子どもたち」(国際交流プラザ) 12/7(水)~12/20(火)
- 世界あれこれミニトーク(国際交流プラザ) 12/10(土) 13:30~15:00(3面参照)
- おしゃべり広場(国際交流プラザ) 12/17、1/21、2/18、3/17 毎月第3(土) 15:00~16:00

日本語教室「日本語サロンさんだ」

Japanese class 「Nihongo Salon SANDA」 受講生随時募集

日本にきて日本語を勉強したい人のための教室です。ボランティア講師が1対1で、受講者の目的やペースに合わせて指導します。
Any foreign residents who would like to learn Japanese are welcome to join "Nihongo Salon SANDA".

月曜クラス every Monday : 10:00-12:00 保育あり
木曜クラス every Thursday : 18:30-20:00
土曜クラス every Saturday : 13:30-15:45
場所 : まちづくり協働センター講座室他(三田駅前キッピーモール6F)
受講料 : 半期(4月~9月、10月~3月) 2,000円
Fee : 2,000 yen for a half year (April-September, October-March)
詳細は事務局まで Please contact Sanda International Association office